

海外生活 エッセー

ソウル事務所

安くて便利！！ IT化が進むソウルの交通事情

(一財)自治体国際化協会ソウル事務所 所長補佐 荒木 忠厚 (長崎県派遣)

人口約1,000万人の韓国の首都・ソウル特別市。17ある広域自治体のうち、ソウル特別市だけで韓国全体の人口約5,150万人の20%近くを占めています。今回は、その大都市ソウルを支える交通事情についてご紹介します。

→ 交通カードはとってもお得で便利！

ソウルで地下鉄やバスに乗る際には、交通カード（交通系ICカード）で料金を払うことをおすすめします。地下鉄の駅構内に設置された機械であらかじめお金をチャージして使う交通カードは、現金払いの場合よりもお得なことがあるからです。まず、初乗料金が、現金払いの場合より100ウォン（約10円）安くなります。さらにお得なのは、地下鉄とバスを乗り換える際、30分以内であれば乗換料金が適用されて、初乗料金を2回払う必要がなく、すでに払っている料金が引き継がれるのです。したがって、バスを降りた後30分以内に買い物を済ませて地下鉄に乗れば、改めて初乗料金を払うことなく地下鉄に乗り換えることもできるのです。

また、交通カードは、ソウルだけでなく、韓国国内であればほぼどこでも使うことができますし、タクシーやコンビニなどでの支払いにも使えますので、とっても便利です。

ちなみに、交通カードは、コンビニなどで2,500ウォン～4,000ウォン程度（約250円～400円）で購入することができます。

→ 地下鉄はとっても安くて安全！

ソウルの地下鉄の初乗料金は、交通カードで払う場合は1,250ウォン（約125円）と安いです。また、日本と同様、乗車距離に応じて料金が上がっていきませんが、例えば、距離は約50km、時間は約1時間かかるソウル-仁川空港間の料金は4,150ウォン（約415円）と、日本の上野-成田空港間と比較しても、その安さは歴然

としています。

さらに、天井まで全面をスクリーンで覆ったホームドアがほぼすべての地下鉄駅のホームで整備されているため、小さい子供が転落する心配もなく、とっても安全です。ちなみに、ホームドアは、安全性の確保だけでなく、デジタルサイネージを含めた広告スペースとしても活用されています。



写真①：地下鉄のホームドアとデジタルサイネージ

→ バスの運行状況はいつでも、どこでも確認可能！

ソウルでは、地下鉄だけでなく、バスも沢山運行されていますが、スマートフォン用アプリを活用すれば、運行状況をいつでも、どこでも確認できるため、とっても便利です。バス停の名前で検索すると、そのバス停に停まる全てのバスについて何分後に到着するか確認できますし、バスの系統番号で検索すると、そのバスの現在地や路線図などを確認することもできます。もちろんバス停でも、自分が乗りたいバスが何分後に到着するかを電光掲示板で確認できます。



写真②：バスの系統ごとに運行状況が表示されるアプリ（左）とバス停の電光掲示板（右）